

平成 31 年度

履修ガイダンス

愛知県立起工業高等学校
(翼キャンパス)

	目	次
1	平成31年度履修登録ガイダンス資料 2
2	平成31年度科目案内	
	国語 3
	地理歴史 4
	公民 4
	数学 5
	理科 6
	保健体育 7
	芸術 8
	外国語・英語 9
	家庭 10
	情報 10
	専門科目(商業・工業) 11
	総合学習 12

クラス	年	組	番
氏名			

1 平成31年度履修登録ガイダンス資料

(1) 卒業の要件

ア 高等学校での在籍が、3年以上(他校での在籍も含め認定された在籍年数の合計)であること。

イ 74単位以上修得されていること。

ウ 本校の必修科目の履修がすべて済んでいること。
(修得の義務はない)

エ 特別活動(HR・学校行事等)を3年分履修していること。

オ 授業料等を完納していること。

(2) 高認・併修について

ア 原則として、2年生以上の生徒で、前年度までに不履修となった科目について、単年度あたり6単位以内の単位認定が可能。

イ 年度末で、本校の修得科目が0単位の場合は、単位認定を行わない。

(3) 技能審査について

在学中に技能審査に合格し、その対応する科目を修得した場合に、修得した単位に当該科目の単位を増加単位として認定する。(認定科目・増加数は別途指示)

(4) 必修科目

平成25年度以降の入学

教科	科目	必要単位数
国語	国語総合	4単位
地理歴史	世界史A	いずれか1科目
	世界史B	
	日本史A	いずれか1科目
	日本史B	
地理A		
公民	現代社会	どちらかの 組み合わせ
	倫理	
数学	政治・経済	3単位
	数学I	
理科	科学と人間生活	科学と人間生活と 〇〇基礎1科目の2科目 または 〇〇基礎を3科目
	物理基礎	
	化学基礎	
	生物基礎	
保健体育	地学基礎	7単位
	体育	
芸術	保健	いずれか1科目
	美術I	
	工芸I	
外国語	書道I	3単位
	コミュニケーション英語I	
家庭	家庭基礎	2単位
情報	社会と情報	いずれか1科目
	情報の科学	
総合的な学習の時間		3単位

ア 午後の授業の中には、1つの講座だけでは単位数が必修科目の履修条件に満たない場合があります。

イ 詳しくは、担任または、教務部に相談してください。

2 平成31年度科目案内
国語

学年	授業の種類	選択区分	必履修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	4	国語総合			現代文・古文・漢文・表現分野ともに扱い、語彙力、漢字力を高めつつ、基本的な読解力を養います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「高等学校 改訂版 新編国語総合」 第一学習社
	午後	選択	○	2	国語総合基礎	国語総合		国語総合の履習内容にあわせ、その基礎事項を再確認することができるように展開します。中学の復習・基礎を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
	特別	選択	○	2	国語研究	国語総合		日本語の表記力・読解力を更に伸ばすよう書き取り・読み取りの反復練習を中心に学習します。また、現代文・古文の著名作品を読み、読解力を深めます。国語の発展・応用を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
2	午前	全員		2	国語表現			漢字、語句、ことわざなどの語彙力を高めるとともに、正しい文章表現について学び、実用的な文章が書けるようにします。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「国語表現」改訂版 大修館
	特別	選択		2	文章表現	国語表現		実践的な文章表現を学び、種々の文章を実際を書く練習をします。(補助教材代が必要です。)	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
3	午前	全員		2	現代文A		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、基礎的な読解力を身に付けられるように展開します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「高等学校 改訂版 新編現代文A」 第一学習社
		選択		2	古典A		前年までに国語総合の履修が必要	国語総合での履修内容をふまえ、古典の著名作品を読み、あらすじをつかみ鑑賞を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「古典A」 三省堂
	選択		4	現代文B		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、正しい読解とより深い内容理解ができるように展開します。現代文Aより深い内容となります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「明解現代文B改訂版」 三省堂	
	午後	選択		1	現代文B基礎	現代文B	前年までに国語総合の履修が必要	現代文Bの学習を補う意味で、基礎的読解能力の向上を図ります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
	特別	選択		2	作品講読	現代文B	前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、一つの作品を深く読み込むことで、深い読解力を身に付けられるように展開します。現代文Bより深い内容となります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
4	午前	選択		2	現代文A		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想・小説を主に扱い、正しい読解とより深い内容理解を身に付けられるように展開します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「現代文A」 東京書籍

※◎は1科目履修で必履修条件の単位数となる科目で○は合計4単位の科目履修が必要となる。

地理歴史

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
2	午前	全員	◎	2	世界史A			世界の諸地域に独自の文明・文化が展開していく「地域史」の移り変わりを、時代の中心的人物・制度・事件等を通して概説的に学びます。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「新版世界史A 新訂版」 実教出版
	特別	選択	◎	2	歴史研究	世界史A		世界の歴史の中で、一般の人々にもよく知られているテーマについて、分かり易く解説します。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
3	午前	選択	□	4	日本史B			先史時代、古代から近代・現代までを概略的通史的に学びます。日本の歴史の推移を見ることに主題を置きます。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「高校日本史 改訂版」 山川出版
		選択	□	2	地理A			現代社会の地理についての基礎的知識を学びます。身近な地域の地理を取り上げるとともに国際社会への関心を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	「高等学校 新地理A」 帝国書院
	午後	選択	□	2	午後地理A	地理A		現代社会の地理についての基礎的知識を学びます。身近な地域の地理を取り上げるとともに国際社会への関心を高める授業を行います。	主に作業を中心として行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
4	午前	選択	□	2	日本史A			近代・現代を中心とする日本の歴史を国際的視野に立って学びます。身近な地域の歴史を取り上げ、歴史への関心を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「現代の日本史 改訂版」 山川出版

※◎と□から1科目ずつ、合計2科目の履修が必要となる。

公民

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	現代社会			現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、時事問題の解説などを行い、私たちが社会生活をする上での問題意識をもてるように授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「最新現代社会 新訂版」 実教出版 「新詳高等地図」 帝国書院
	特別	選択	◎	2	社会研究	現代社会		現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、時事問題の解説などを行い、問題意識を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
3	午前	選択	◇	2	倫理			西洋・東洋・日本の代表的な思想家について、その生涯と考えを平易に解説します。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「高等学校 現代倫理 新訂版」 清水書院
		選択	◇	2	政治経済			現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、現代社会の諸課題についての基本的な見方や考え方をもちょうに授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「最新政治・経済 新訂版」 実教出版

※◎のついた科目を1科目履修するか、または◇のついた科目を2科目両方履修することが必要となる。

数学

学年	授業の種類	選択区分	必履修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書	
1	午前	全員	◎	3	数 学 I			数と式・2次関数・三角比・集合と論証について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学 I 新訂版」 実教出版	
	午後	選択		2	数 学 活 用			身近に使われている数学や中学校の復習も含めた基礎的な内容を学習します。また、数学 I の復習もします。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし	
		選択	○	1	数 学 I 演 習	数学 I		午前の数学 I の復習・発展問題をします。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし	
	特別	選択	○	2	数 学 ア ラ カ ル ト	数学 I		身近に使われている数学や数学の歴史などにも触れ、中学校の復習も含めた基本的な内容を学習します。また、午前の数学 I の復習もします。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし	
2	午前	全員		2	数 学 A			場合の数と確率・整数の性質・図形の性質について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学A 新訂版」 実教出版	
	特別	選択		2	数 学 研 究	数学A		基礎的な内容を中心に、数学的な考え方について学習します。様々な問題を学習し、いろいろな解き方を学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし	
3	午前	選択		4	数 学 II		前年までに数学 I の履修が必要	複素数と方程式・図形と方程式・いろんな関数・微分と積分について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学 II 新訂版」 実教出版	
		選択		2	数 学 B		前年までに数学 I の履修が必要	数列とベクトルについて、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学B 新訂版」 実教出版	
	特別	選択		2	数 学 一 般	数学B	前年までに数学 I の履修が必要	基礎的な内容を中心に、数学的な考え方について学習します。受験問題や就職問題を学習し、いろいろな解き方を学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし	

※◎は1科目履修で必履修条件の単位数となる科目で○は合計3単位の科目履修が必要となる。

理科

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書	
1	午前	全員	◎	2	科学と人間生活			理科の各分野(生物・化学・物理・地学)の基礎知識から、それを応用した現代の科学技術について学び、身近な生活の中で利用している「もの」に対する好奇心を養います。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「科学と人間生活」啓林館	
	特別	選択	◎	2	理 科 研 究	科学と人間生活		科学や技術について関心を持ち、人間生活の中での理科の役割について学んでいきます。	講義及び簡単な実験・実習を行います。	定期考査・授業プリント・課題・提出物	なし	
2	午前	全員	○	2	生 物 基 礎			「代謝」、「遺伝子」、「恒常性」などの分野を学ぶことで生命現象を理解する力を養います。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「高校生物基礎 新訂版」実教出版	
	特別	選択	○	2	環 境 科 学	生物基礎		生物的環境を中心に、地球について・日常生活との関わり・環境問題などを扱っていきます。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント・課題・提出物	なし	
3	午前	選択	○	2	化 学 基 礎			中学校までに学習した化学の基本を振り返りつつ、より深い理解を進め、身のまわりの化学的な現象への興味を養います。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「改訂 新編化学基礎」東京書籍	
		選択	○	2	物 理 基 礎			身近な生活の中での物理現象を中心に、力学やエネルギーの基礎知識を学ぶことで考察していきます。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「改訂 新編物理基礎」東京書籍	
		選択	○	2	地 学 基 礎			地球の構造から生命誕生の歴史そして宇宙にいたるまで、地学分野の基礎を学び科学への興味を深めます。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「地学基礎 新訂版」実教出版	
		選択		4	生 物		前年までに生物基礎の履修が必要	2年生で学んだ生物基礎をもとに、さらに生物を系統的に理解し探究する態度と能力を身に付けます。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「生物 改訂版」啓林館	
	午後	選択		1	理 科 課 題 研 究		前年までに生物基礎の履修が必要	環境問題や日常の人間生活の科学的な疑問を、実験や実習を通して自ら考え解決していきます。	講義及び簡単な実験・実習を行います。	定期考査・授業プリント・課題・提出物	なし	
4	午前	選択	○	2	化 学 基 礎			中学校までに学習した化学の基本を振り返りつつ、より深い理解を進め、身のまわりの化学的な現象への興味を養います。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「改訂 新編化学基礎」東京書籍	
		選択	○	2	物 理 基 礎			身近な生活の中での物理現象を中心に、力学やエネルギーの基礎知識を学ぶことで考察します。	講義形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「改訂 新編物理基礎」東京書籍	

※理科の履修条件

A ◎のついた科目1科目と○のついた科目1科目の合計2科目履修すること。

B ○のついた科目を3科目履修すること。

※AとBのどちらかの条件を満たすこと。

保健体育

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	体 育			【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】変化する現代社会におけるスポーツの意義や、豊かなスポーツライフの設計と実践等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	「現代高等保健体育 改訂版」大修館
		全員	◎	1	保 健			我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するための健康に関する知識や、適切な意思決定や行動選択等について学習する。	講義形式で行う。	定期考査・出席・提出物	「現代高等保健体育 改訂版」大修館
	午後	選択	○	1	体 育			バスケットボール、バドミントン、卓球、テニス、サッカー	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	なし
2	午前	全員	◎	2	体 育			【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】運動技能の構造や上達過程、上達の程度を把握する方法等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	「現代高等保健体育 改訂版」大修館(1年で使用した教科書を利用)
		全員	◎	1	保 健			生涯の各段階における健康課題や、社会生活における健康の保持増進のために必要な環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康等について学習する。	講義形式で行う。	定期考査・出席・提出物	「現代高等保健体育 改訂版」大修館(1年で使用した教科書を利用)
	午後	選択	○	1	体 育			バスケットボール、バドミントン、卓球、テニス、サッカー	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	なし
3	午前	全員	◎	2	体 育			【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、ラグビー、バドミントン、卓球、バスケットボール、ダンス 【体育理論】自己の体に気付き、体の調子を整えたりする体ほぐしの意義と行い方等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	「現代高等保健体育 改訂版」大修館(1年で使用した教科書を利用)
		午後	選択	○	1	体 育			テニス、バドミントン、バスケットボール、卓球	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解
	特別	選択	○	2	総合スポーツ	体育		グランドゴルフ、バドミントン、ベースボール、バレーボール、バスケットボール、卓球、ドッチビーなど生涯スポーツとして行える軽スポーツを中心に学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	なし
		選択	○	2	くらしと健康	保健		現代社会でより快適に生活をするために、健康に関心を持ち住環境・食環境などを見直し、どのように関わっていくかを学ぶ。	演習・実習形式で行います。	通常授業や定期考査期間中の実習・出席・提出物	なし
4	午前	全員	◎	2	体 育		【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】自己の体に気付き、体の調子を整えたりする体ほぐしの意義と行い方等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。男女共修で行う。	出席・運動の技能・運動への関心、意欲・運動や安全についての知識、理解	「現代高等保健体育 改訂版」大修館(1年で使用した教科書を利用)	

※体育合計7単位以上、保健2単位以上

芸術

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書	
2	午前	選択	○	2	美術 I			鉛筆スケッチやポスター等、描くことを中心とした授業です。教材費は自己負担です。(3000円)	作品制作が中心です。	作品・出席・意欲	「Art & You 創造の世界へ」 日本文教出版	
		選択	○	2	工芸 I			立体的なものづくりを中心とした授業です。材料費は自己負担です。(4000円)	作品制作が中心です。	作品・出席・意欲	「工芸 I」 日本文教出版	
		選択	○	2	書道 I			楷・行・草・篆・隸の五体について、臨書を中心に学ぶと共に作品作りをする。(3000円)	実技が中心です。	課題・出席・意欲	「新編 書道 I」 教育出版	
	午後	選択	○	2	美術 I			造形や工作など、作ることを中心とした授業です。 教材費は、自己負担です。(3000円)	作品制作が中心です。	作品・出席・意欲	なし	
3	特別	選択	○	2	書道入門	書道 I		楷・行・草・篆・隸の五体について、臨書を中心に学ぶと共に作品作りをする。(3000円)	実技が中心です。	課題・出席・意欲	なし	
4	特別	選択	○	2	デザイン	工芸 I		平面的なものづくりを中心とした授業です。材料費は自己負担です。(3000円)	作品制作が中心です。	作品・出席・意欲	なし	

※3科目の中から1科目履修

外国語・英語

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員		2	コミュニケーション英語基礎			中学校英語の基礎的な運用能力を養い、高校英語への円滑な接続を目標に学習します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	「JOYFUL English Communication Basic」三友社出版
	特別	選択		2	基礎英語	コミュニケーション英語基礎		コミュニケーション英語基礎の学習内容を補充します。基礎的な問題演習を行うための教材を購入して実施します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	なし
2	午前	全員	◎	3	コミュニケーション英語 I			コミュニケーション英語基礎で学習した内容を踏まえ、4技能を総合的に育成するための統合的な活動を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	「Revised ENGLISH NOW English Communication I」開隆堂
	午後	選択	○	2	コミュニケーション英語 I 基礎	コミュニケーション英語 I		「コミュニケーション英語 I 演習」の講座と合わせて、午前の「コミュニケーション英語 I」の単位を修得可能にします。コミュニケーション英語 I で学習する分野について補充する学習内容です。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	なし
		選択	○	1	コミュニケーション英語 I 演	コミュニケーション英語 I 習		コミュニケーション英語 I で学習する分野について、特に使用頻度の高い「語」を取り上げながら会話表現を中心に問題演習を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	なし
3	午前	選択		4	コミュニケーション英語 II		前年までにコミュニケーション英語 I の履修が必要	コミュニケーション英語 I で学習した内容を踏まえ、英文の内容把握等ができる能力を習得することを目的とします。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	「Revised ENGLISH NOW English Communication II」開隆堂
	特別	選択		2	英語研究	コミュニケーション英語 II	前年までにコミュニケーション英語 I の履修が必要	英文を多く読むことで、正確に内容を読み取れることを目標にします。別途教材を購入して実施します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	なし
4	午前	選択		2	総合英語			英語の読むこと・書くこと・話すこと・聞くことの基礎的な知識の習得とその活用能力を育てることをねらいとして学習します。別途教材を購入して実施します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	「Trinity+L2 基礎編 英語総合問題集」啓隆社
	特別	選択		2	外国事情	異文化理解		海外の様々な異文化に関する資料を英文で読むと同時に、異文化を知る機会とします。別途教材を購入して実施します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・出席・提出物	「Touch the World Reading SERIES I」中部日本教育文化会

※◎は1科目履修で必修条件の単位数となる科目で○は合計3単位の科目履修が必要となる。

家庭

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	家庭基礎			「自分らしい生き方と家族」、「衣生活をつくる」、「食生活をつくる」、「子どもとかかわる」について学びます。実習費として2000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・出席・提出物・実習	「新家庭基礎 パートナースhipでつくる未来」実教出版
2	特別	選択		2	料理研究	フードデザイン		安全で豊かな食生活とは何かについて考え、食品衛生・食糧問題・栄養について学びます。調理実習を通して調理技術の向上も目指します。実習費として、年間4000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・実技テスト・提出物・出席	なし
3	午後	選択	◎	2	午後家庭基礎	家庭基礎		「子どもとかかわる」、「高齢者とかかわる」、「住生活をつくる」、「消費者として自立する」について学習します。実習費として、年間500円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・出席・提出物・実習	なし
4	午前	選択		2	フードデザイン			楽しく主体的に調理実習をしながら、素材についての知識を深め、調理方法と調理科学の関係、食文化、食卓の演出等について学びます。実習費として、年間4000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・出席・提出物・実習	「フードデザイン cooking & arrangement」教育図書

※◎のついた科目を1科目履修する。

情報

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
2	午前	全員	◎	2	社会と情報			ワードやエクセルを使い、パソコンによる文章の入力及び表計算の基礎を学習します。また、パワーポイントでの資料の作成等を学習します。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物	「社会と情報」東京書籍
	特別	選択	◎	2	パソコン	社会と情報		社会と情報の履習内容にあわせて、パソコンの基本操作を学びます。(補助教材代が必要です。)	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物	なし
3	午後	選択	◎	2	情報の科学			パソコンの基本知識に加えて、主に表計算ソフトを使った関数の利用やグラフの作成を学びます。(補助教材代が必要です。)	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物	なし

※◎のついた科目を1科目履修する。

専門科目(商業・工業)

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午後	選択		2	ビジネス情報			表計算ソフトについて、基礎から学習します。履修者は、1月の情報処理検定受験を目標とするので、応用的な内容も含まれます。自己負担額(800円程度)	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	なし
	特別	選択		2	ワープロ	情報処理		表計算ソフトについて、基礎から学習します。履修者は、1月の情報処理検定受験を目標とするので、応用的な内容も含まれます。自己負担額(800円)程度	[定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	なし
2	午後	選択		2	簿記			会社が行う経理の基礎である簿記を学びます。自己負担額(700円程度)	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	なし
3	午前	選択		2	ビジネス情報			主にネットワークに関する用語や表計算ソフトを活用した学習を行います。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「ビジネス情報 新訂版」 実教出版
4	午前	選択		2	情報処理			表計算ソフトを学習します。状況を見て、応用的な内容も学習します。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「最新情報処理 新訂版」 実教出版
		選択		2	ビジネス情報			ネットワークや表計算ソフトの応用的な活用について学習します。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「ビジネス情報 新訂版」 実教出版
	特別	選択		2	染色	工業技術基礎		実習を通して、染色を勉強します。材料費は自己負担(5000円)です。	実技(版染・絞り染め)が中心です。	実習作品・態度	なし

総合的な学習の時間

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	講座名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	1	自己理解と人間関係作り		グループ活動により協力して一つの課題に取り組むことを通して、自己や他者の理解、協力のしかた、他者を尊重する態度などを楽しみながら学びます。	グループ学習	振り返りシート	なし
					国語入門		古代から現代までの幅広い言語文化を学ぶことにより、日本語に対する理解を深めます。また、日本語を用いて正しく表現する力を身に付けます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					生活の中の数学		日常的に使われる、割引の計算や消費税、建築物の形や高さ、面積など、我々の身の回りにある物や事柄を数学的に分析し、仕組みなどを理解します。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					短歌入門		文学的な文章を受容するだけでなく、創作することによって、自らのものの見方、感じ方、考え方を深めます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
2	午前	全員	◎	1	進路講座		就職活動をする上での心構えと基本的なマナーについて学びます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					自分発見		進学について、大学の出前授業を体験することにより進路選択の基本姿勢について学びます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					生活と健康		生活習慣の向上について、特にがん教育を中心に理解を深めていきます。がん予防について知識を身に付けていきます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
3・4	午前	全員	◎	1	社会人準備講座		社会人としてどうあるべきかを自ら積極的に考え、実行に移す意欲をもつことの大切さを学びます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					人体のしくみ		人体のしくみを考えます。特に代表的な心臓・胃腸・肺・脳の構造と働きを、具体的な数字に置き換えて理解するとともに、関連した病気の予防方法を身に付けます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					英語新発見		従来の英語の授業では、あまり触れられない英語に関する内容を学習することによって、英語の新しい知識を習得し、英語に対する興味を持てるようにします。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし
					災害入門		過去の地震災害の映像や資料を基に、自分の身に降りかかる可能性のある災害について学習し、対処や克服の方法を考えます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート	なし

※卒業までに3単位履修 講座内容は都合により変更の可能性もあります。